

桜工

2008



目次

巻頭言	
意外な出来事? 「千本木 茂夫」	2
特集「理工学部ブランド化」	
真のブランディングは社会的信頼の構築 「岩井 光男」	3
もったいない …今こそ、点から面へ… 「井澤 勇」	4
卒業生との交流を深めブランド価値向上を 「篠沢 達也」	5
よい経験を積んだ学生を社会へ送り出す 「横山 法明」	6
世界にはばたく!!	
水素吸蔵合金に魅せられて 「西宮 伸幸」	7
超新星のはらわた 「藤井 紫麻見」	7
理工学部NEWS	8
文部科学省特色ある大学教育支援プログラムに採択される 「未来博士工房による自律性と創造力の覚醒」	
工学（技術者）基礎教育の充実と学習支援	
校友会NEWS	10
平成19年度理工学部校友会奨学生証書授与 「工化会70周年」のお知らせ/各部会記念事業	
工科系校友会連絡会および工科系校友会支部長会開催	
理工学部・理工学部校友会連絡会開催および顧問・相談役会との合同懇親会開催/各部会講演会活動報告/個人情報対策について	
学術賞等受賞者 -研究の楽しさ-	13
志水 茂/田中 重光/遠山 岳史/岡田 正雄	
入試・就職	18
部会だより	21
土木・建築・機械・電気・工化・交通	
精密・物理・数学・海建・航空・電子	
地方・職域支部活動報告	27
支部・クラス会だより	29
事務局だより	32
(事務報告・収支報告等・会費納入者名簿)	
平成19年度第十九回「桜工賞」受賞予定者表	34
理工学研究所付置研究施設の紹介	35

理工学研究所付置研究施設の紹介

理工学研究所は、理工学に関する学理・技術の研究、特に理工学の各分野にわたる総合研究を行うことを目的としています。研究所が管理・運営する研究施設では、教員・学生の研究活動のみならず、官公庁・民間会社などからの委託研究や産学共同研究も活発に行われています。さらに、研究成果が広く社会の発展に貢献でき、理工学部における大学院生・学部生の教育の充実にも結びつくように支援をしています。

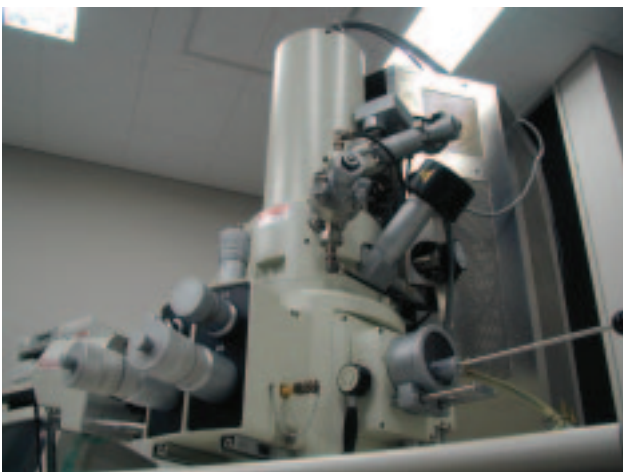
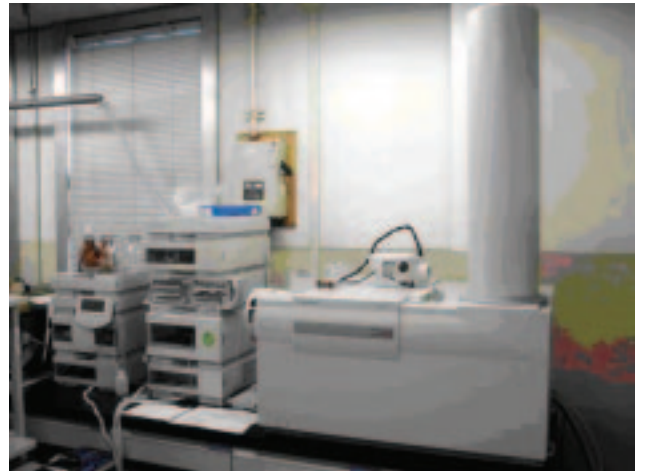


大型構造物試験棟

昭和50年12月に完成した本施設は、大学の研究施設としては世界的な規模と高性能を備えた実験装置群を有しています。研究設備には、実物大構造物の試験ができる30MN大型構造物試験機（圧縮力30MN、引張力10MN）、構造物の耐震性能を高い精度で検証できる多入力振動試験装置などがあります。地震力のような水平加力実験の反力をとる高さ12.4m、幅10m、壁厚1.5mの反力壁のあるテストフロアや、施工実験・試験体の製作等広範に利用できる屋外試験場など、いずれも実大または実大に近い大きさのモデルによる試験が可能です。

分析センター

昭和48年から設置され、化学物質の機器による分析およびこれに関する教育・研究・試験を実施しています。設備には、ガスクロマトグラフ質量分析装置、高速液体クロマトグラフ質量分析装置、フーリエ変換核磁気共鳴装置（400MHz）、X線広角回折/小角散乱装置、元素分析装置、電子スピン共鳴装置および飛行時間型質量分析装置が設置されています。本施設の利用度は非常に高く、大学院生、学部学生を中心に化学物質の構造解析、物性測定などに広く利用され、修士論文や卒業論文の作成に大きく寄与しています。また、他学部や学外などからの分析依頼にも応じており、これらの研究成果は学会発表や研究論文として多数発表されています。



先端材料科学センター

平成7年完成。電界放射形透過電子顕微鏡、電界放射走査形電子顕微鏡、X線光電子分光装置、収束イオンビーム加工装置、振動材料型磁力計、SPM、X線マイクロアナライザー、エリプソメータ、薄膜スバタリング装置などの装置を備えた、本学の共通的な材料研究機関で、超伝導材料、高密度磁性材料、金属材料、セラミック材料等のエレクトロニクス関連材料から触媒、高分子材料や建築用コンクリート材料に至る広範囲の材料科学研究に貢献しています。本センターでは、設置機器の講習会や大学院生を中心とした「材料科学に関する若手フォーラム」を定期的に開催しており、国内外の第一線の研究者による講演会等も行っています。



日本大学基本ロゴマークは、日本大学シンボルマークと教育理念、日本大学ロゴタイプを組み合わせたものです。ロゴマークは、スクールカラーの「緋色」を基調とし、日本大学のアルファベットの頭文字「N」としました。「自主創造」の教育理念をイメージし、力強く躍動感のある字体となっています。また、「N」の後の赤い丸印は、日本大学の建学の精神である「日本精神」「日本の伝統・文化の尊重」と共に「輝く太陽」を意識しました。また、教育理念と目的が「自主創造」であることを明確に表すため、大学名の上にそのまま表記しました。



Cansa打ち上げ



完成したCubesat2と仲間達



バッテリーエコノミーラン国際競技会に参加

編集後記

「ミートホープ」「白い恋人」に始まり、政治の世界でも怪しげな「なんとか還元水」インド洋での「給油虚偽申告」、さらには老舗の「偽表示」に至るまで、昨年は「偽装」に明け暮れた。そのため去年を代表する漢字が「偽」となったことは読者も記憶に新しいことでしょう。

「為」は象を飼いならすさまを表す字で、「行う、実施する、人為的に作る、こしらえる、おさめる、統治する、なおす、治療する、修理する」の意味を持つようである。これに「人べん」を加えた「偽」は「人が手を加えてつくる、人がつくりごとをする」から「いつわる」の意味になる。不完全な人間のつくるものは、神からみれば所詮、偽物かと妙にあきらめてしまうのは、私だけであろうか。さらに人間の持つ効率追求や欲望といったものが、その偽装作業に拍車をかける。このとき、「誠心・誠意」の強い心があれば、あとで頭を並べて謝らずに済むのかもしれない。（会誌副委員長 西村 哲）

会誌委員

◎鈴木 謙一	○石山 元雄	○西村 哲					
生田 育良	岩井 茂雄	眞野 源吾	角 耀	澤口 孝志	浅井 朋彦		
室伏 誠	下川 澄雄	小倉 正二	居駒 知樹	木村 元昭	高橋 芳浩		

◎委員長 ○副委員長

平成20年度通常総会開催予定

日時：平成20年6月20日(金)
会場：東京ガーデンパレス

- 住所表示・勤務先・TEL番号等の変更は事務局までご連絡下さい。
- クラス会等に「桜 工」をお送りします。(実費・送料が必要となります。)
- クラス会開催の際は会合名・卒年・学科・開催日時・場所・参加人数等をお知らせ下さい。

※詳細・問い合わせ等は下記理工学部校友会事務局までご連絡下さい。

〒101-8308
 東京都千代田区神田駿河台1-8-14
 日本大学理工学部内 9号館11階
 理工学部校友会事務局
 TEL：03-3259-0650（江口・田中）
 FAX：03-3293-1370
 ホームページアドレス
<http://www.koyukai-cst-nu.jp/>

平成20年3月25日発行

日本大学理工学部校友会

(日本大学工科学部校友会)

編集・発行者 鈴木 謙一
 〒101-8308
 東京都千代田区神田駿河台1-8-14
 電話 03-3259-0650
 FAX 03-3293-1370
 印刷所 株式会社トーコー印刷